

### 3.11 東日本大震災における岩手県立中央病院の記録

東日本大震災・津波から5年が経過しました。無残にも突然途絶えた個人、家族、団体、組織の軌跡をたどる作業が今も行われています。何もなかったような平穏な毎日の仕事にやっと癒やされるようになった沿岸の県民は、一方では無常な爪痕を残す重要性を議論はじめています。内陸に位置するため、津波の直接的な被害がなかった当院でも、苦く貴重な経験がありました。どのように役に立つかも分かりませんが、残さざるを得ないという思いに背中を押されて書いた文章や論文です。この時期に刊行されるこの本に、なくてはならない記録のページです。

#### 岩手県立中央病院 東日本大震災への対応

岩手県立中央病院 副院長（当時）  
望月 泉

3月11日、午後2時46分、東北地方太平洋沖地震が発災しました。震源地は三陸沖、震源の深さは約24km、地震の規模はMw 9と、きわめて強大な地震であったのはご承知の通りです。この大地震は太平洋プレートと北米プレートの境界が、宮城沖、岩手沖、福島沖と600kmにわたって崩壊し、6分間に及ぶ激しく長い地震で、引き続いて生じた大津波が被害を甚大なものとしました。

発災時、私は丁度外来が終了し、3階の部屋に戻ってきました。すさまじい音と立っていることが困難なほどの揺れが長く続き、無意識に崩れ落ちようとする本箱を押さえていました。揺れが終った後、日頃の災害訓練通り、1階の事務室に職員が集合し、院長を本部長に当院の災害対策本部が立ち上がりました（写真1）。



写真1 岩手県立中央病院災害対策本部の風景

まず、各病棟、各部門の被害状況のチェックを行い、本部での情報収集を行いました。災害対策本部は、まず被災の状況、院内の状態などの情報収集を行い、診療方針を決定し、情報の発信を行うことを機能としました。停電となつたため、自家発電に切り替わりましたが、テレビは映りました。

大震災の第1報は、盛岡震度6弱（最初は内陸北部は5弱）（岩手県全域）、宮城北部7。宮城南部、福島6強。三陸沖を震源。M 7.9

災害時院内状況一覧(3)			
備蓄状況			
報告日時 23年3月11日 15時00分現在			
確保日数			
電気(自家発電)	運転不可	1.5	日間
水道	OK (停電なし 2.3時間)	日間	
酸素		日間	
栄養管理室の状況			
報告日時 年月日 時 分現在			
(PHS )			
給食の提供	可・不可	復旧のめど(不可のとき)	
		なし。( )時間以内・不明	
備蓄食料			
報告日時 年月日 時 分現在			
(PHS )			
( )食分の在庫	2食で( )日分	1日2食で( )日分	パン
1日3食で( )日分	←電気復旧次第、 120食分	→	パン
薬剤部の情報			
報告日時 年月日 時 分現在			
(PHS )			
外方LAN使えぬ、オーファイブOK 院外もうちつけ			
中央材料室の情報			
報告日時 年月日 時 分現在			
(PHS )			
オーファイブ停止 ステラットのみOK			

写真2 災害対策本部のホワイトボード

と推定。津波第一波（岩手）は到達している模様で、太平洋沿岸に大津波警報（3m以上の津波）発令。津波の第一波は、14時46分、大船渡で20cm。1時間後3～4mの津波と放送していました。

しかし、実際は10mを越える大津波が襲来し、甚大な被害を与えました。岩手県立中央病院大震災への対応として以下の4段階に分けて述べたいと思います。

### 第1段階／入院患者および職員の安全確保と緊急のトリアージ・救急体制の確立

当院建物の被災状況は一部のトイレや休憩室の壁にひび割れ、一部の病棟通路の天井落下など軽微でした（写真2）。ライフラインに関しては、停電にて自家発電稼働となり、重油残量は1.5日が限度、水道は異常ないが、自家発電がなくなると屋上に水を上げることが不能となる。院内PHS、固定電話は異常ないが、外部との連絡は制限、とくに携帯電話は繋がらず、エレベーターは全基停止。復旧見込みなしでした（エレベーターは17時非常用1基のみ使用可となる）。

入院、外来患者ともに負傷者ではなく、空床数は70床、CTは1台使用可能、人工呼吸器・人工透析装置使用は可、液体酸素は週2回の補充が完了したばかりでしたので4日間の使用に耐える状況でした。入院患者さんに対する給食の提供は2日間の備蓄があり、手術室は全室使用可能でしたが、滅菌・消毒機器の多くが使用不可能、災害関連・緊急手術のみの対応とし、進行中の手術4件はそのまま継続し無事終了しましたが、予定手術5件は中止することにしました。

トリアージポイントと診療スペースを示します（図1）。

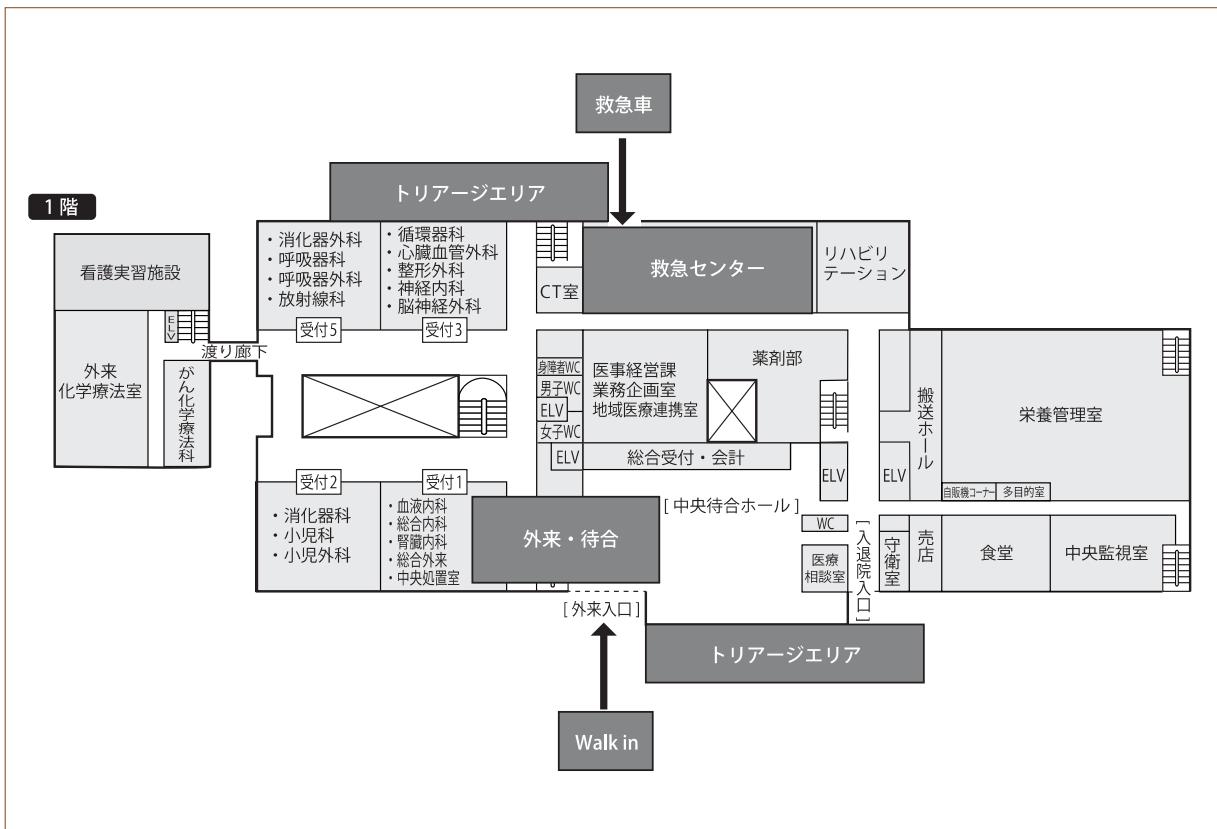


図1 災害対応／トリアージエリアと診療スペース

救急車が入るエリア（黄色、赤色タグ）と walkin（緑タグ）の患者の入り口を別にし、それぞれのエリアでトリアージを行いました。「図2」に診療エリアの医師数を示します。

11日～13日までは携帯が繋がらないため全科泊り込みとしました。14日（月）からは、日の中の緑タグのエリアを廃止し、救急室対応としましたが、さほどの患者数はありませんでした。図3に震災による緊急患者受入状況を示しますが、発災2週間で、入院計101人、外来計92人、震災関連手術件数は12件（整形8、産婦2、消外1、眼科1）でした。

今回の震災の特徴は、初期救急医療の時期が極めて短かったことが阪神淡路大震災と大きく異なる点です。岩手県内死者4555人、行方不明者2419人、負傷者186人（6月21日現在）と負傷者の数が少なく、死者（行方不明者）の数に比べ、負傷者の数が極端に少ないのが津波

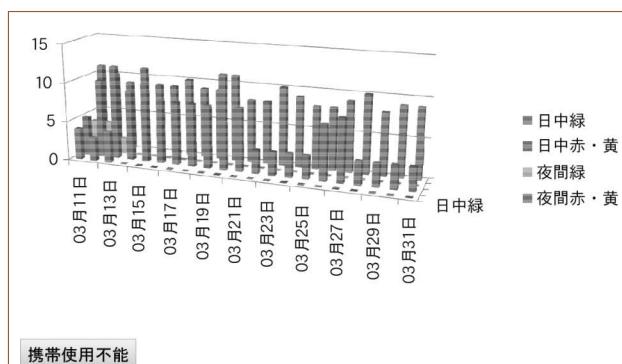


図2 災害対応／診療エリア医師数

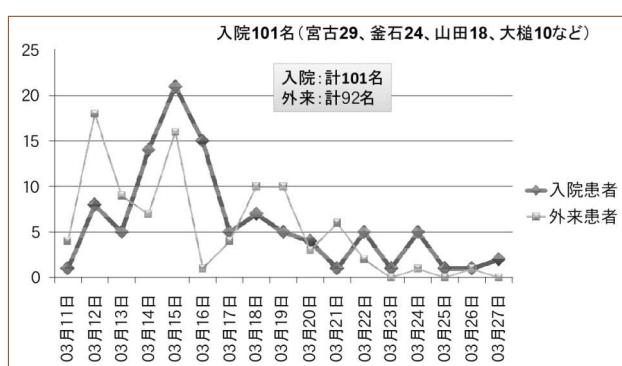


図3 震災による緊急患者受入状況

災害の特徴といえます。震災死者の92.5%は水死だったという報告からも、死者の約8割が住宅の倒壊や家具の転倒による窒息死・圧死だった阪神大震災と異なり、ほとんどの犠牲者が津波のため命を落とした被害の状況が明白です。

#### 第2段階／病院機能の復旧と三陸沿岸医療機関への支援およびトリアージ・救急体制の継続 (DMAT、検案医派遣)

	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
DMAT	ヘリ搭乗	S C U	宮古病院															
高田			4	2→	4→	4→	3→	3→	3→	3→	3→							
宮古				1	6→	5→	3→	3→	3→	3→	3→							
検案医				5	2	2	2		2	2			2	2				
通信手段不良																		
ガソリン不足																		

図4 医療チームの派遣(医師数)

日は県立宮古病院に2チーム派遣しました。検案医は医師5人(16日)、医師2人(17、18、19、22、23、26、27、29、31、4月8、12)と計27人、医師を派遣しました。

#### 第3段階／被災した三陸沿岸医療機関、避難所への長期的な支援強化

県立高田病院は大津波により病院機能は消失、米崎地区コミュニティセンターに移動し、他県の医療支援チームとともに診療開始していました。この米崎に14日(月)、私を含め4人の医師を派遣、以後3~4人の医師、3人の看護師を3日ずつ交代で、5月連休明けまで継続派遣しました。県立宮古病院は病院機能は存続されましたので、3~6人の医師、2~3人の看護師、1人の事務職員を継続派遣、4月は1か月単位で医師2人と週2日間プラス1人の医師を派遣し、災害拠点病院としての機能をサポートしました。高田地域に派遣した医師、看護師は、広田小学校、長部、老人保健施設などの避難所の巡回診療も高田病院のスタッフと一緒にいました。また、薬剤師数人を大船渡病院に派遣しました。

津波により、多くの慢性疾患患者の薬(降圧剤、糖尿病、抗凝固剤など)、お薬手帳、診録などすべてが消失され、全く情報がないなかでの診療となりました。また、避難所の感染対策(肺炎、インフルエンザ、尿路感染、ノロウィルスなど)、肺動脈血栓塞栓症の予防などに気を配りました。心のケアも必要で、保健所のチームを中心に約50チームと多くの支援をいただきました。他県から多数のDMAT、医療支援チームの活動には頭の下がる思いです。

翌12日(土)14時30分、電気が復旧、病院機能は維持できました。重油不足は深刻でしたが、トリアージ・救急体制を継続しながら、被災の大きかった三陸沿岸医療機関への支援に精力を注ぎました(図4)。

DMATとして、12日午前6時、救援ヘリへの搭乗1人、StagingCareUnit(SCU)が花巻空港、矢巾消防学校に策定され、2チーム参入、13~15

#### 第4段階／今後の医療再生

従来のような復興はむずかしく、21世紀型安全安心コミュニティの形成が必要だと思います。津波が襲った海拔の低いところは国が買い上げ、緑地+公共建物とする。海岸の背後にある山を切り抜いて土地を造成し、住宅は高所に、漁のための納屋・物置は海岸近くに作る。高台に新たなコミュニティを建設することになると思います。町の再生がなければ医療の再生もありません。

現在、震災で病院機能を失った、県立高田病院、県立大槌病院、県立山田病院がそれぞれ仮設診療所を建設、保険診療を開始しようとしています。必要なことは病院を集約、高機能を持たせ医師を手厚く配置、医療人材流出への対策、予算措置として医療機器再購入、スタッフ雇用への補助、融資の返済猶予期間の延長、債務の免除などが必要になると思います。

当面の医師確保対策としては、各病院間での従来の診療応援体制の継続、医療支援の継続として、JMATをはじめ多くの学会、全国自治体病院、日本病院会をはじめ多くの団体からの医師派遣を望みたいと思います。被災地の復興はこれからが本番です。被災地への支援体制をさらに充実したものとしていきたいと思います。先生方におかれましても、岩手JMAT その他のご支援、なにとぞよろしくお願ひします。

(2011年6月24日寄稿)

#### 関係論文

野崎英二、高橋徹、宮入泰郎、三河茂喜、三上仁、宮手美治、中村明浩、望月泉：平時の病院間ネットワークの重要性—3.11 病院間の患者搬送（肋骨支援）を成立させたものー、全国自治体病院協議会雑誌、52（12）：20–23、2013

Nakamura A, Satake H, Abe A, Kagaya Y, Kohzu K, Sato K, Nakajima S, Fukui S, Endo H, Takahashi T, Nozaki E, Tamaki K, Characteristics of heart failure associated with the Great East Japan Earthquake, J Cardiol, 62: 25-30, 2013

Nakamura A, Nozaki E, Fukui S, Endo H, Takahashi T, Tamaki K, Increased risk of acute myocardial infarction after the Great East Japan Earthquake, Heart Vessels, 29:206-212, 2014

Nozaki E, Nakamura A, Abe A, Kagaya Y, Kohzu K, Sato K, Nakajima S, Fukui S, Endo H, Takahashi T, Seki H, Tamaki K, Mochizuki I, Occurrence of cardiovascular events after the 2011 Great East Japan Earthquake and Tsunami disaster, Int Heart J, 54: 247-253, 2013

村上晶彦、松本信、三浦真奈美、天野良彦、赤坂威一郎、大方英樹、高橋太郎、小原範之、城戸治、池端敦：大震災前後3年間の当院の救急受け入れ急性胆管炎、急性膵炎の検討、

岩手県立病院医学会雑誌 55: 100-105, 2015

# 病院概要

## 1. 立地条件および診療圏

### (1) 立地条件

当院は、北西側に岩手大学、盛岡第一高等学校、北側に杜陵高等学校、北東側に上田中学校などのある文教地区といわれる一画に位置し、形状は東西に約 280 m、南北に約 119 m のほぼ長方形の形をした約 30,000m<sup>2</sup>の広さをもっています。

最寄りのJR駅は、盛岡駅（東北新幹線・東北本線）があります。盛岡駅からタクシーで約 10 分、バス（県交通：松園行盛岡一高前下車徒歩 5 分と市内病院循環線）で約 20 分となります。

また、近くには桜の名所「高松の池」があり市民の憩いの場となっており、病室からは、雄大な岩手山が眺望でき比較的騒音も少なく、病院運営に適した環境に位置しています。

### (2) 診療圏

四国4県に匹敵する広大な面積を有する岩手県は、20 県立病院と 6 地域診療センターを運営する中で、当院は県営医療の中核機関として、県都盛岡市をはじめ、県内 33 市町村はもとより、県外からも多数の患者が来院しています。

また、信頼される病院づくりを運営の基本とし、他の医療機関との機能分担と相互連携を図りながら診療にあたっています。

## 2. 当院の特色

### 診療体制の充実

チーム医療による6診療センター
消化器センター（消化器内科、消化器外科、内視鏡科）
循環器センター（循環器内科、心臓血管外科）
脳神経センター（神経内科、脳神経外科）
呼吸器センター（呼吸器内科、呼吸器外科）
腎センター（腎臓・リウマチ科、泌尿器科）
小児・周産期センター（小児科、小児外科、産婦人科）

救急医療体制
救急告示病院
二次救急輪番制病院
小児救急輪番制病院

### 患者サービスの充実

- かかりつけ医からの FAX による診療予約制
- 紹介状を持参した新患の優先診療や紹介状を持っている患者の電話予約受付
- 再来患者の診療予約制および電話による診療予約日変更
- 電子カルテシステム
- 院外処方箋の発行（全科）
- 受付、ナースステーション等のオープンカウンター方式
- 病棟に患者食堂（面会室）を設置

- 適時適温給食
- 七夕コンサート・クリスマスコンサートの実施
- 庭園、散策路、BGM放送
- 敷地内全面禁煙
- 来院者用コインロッカー
- 投書に対する回答の院内掲示
- 患者に図書室を開放、患者に図書の貸出し、外来用図書（ひまわり文庫）、患者用図書室【ひまわり図書室～医療情報プラザ】の設置
- 小児科外来待合室に本の読み聞かせコーナー設置（ボランティア・ひまわり）
- 患者用クリティカルパス
- ホームページの設置、外来紹介ポスターの掲示
- 院内での携帯電話の使用（ICU 等禁止区域あり）
- 現金自動支払機の設置、クレジットカードによる医療費の支払い
- 診断書受付コーナー設置
- 患者用 Wi-Fi の提供

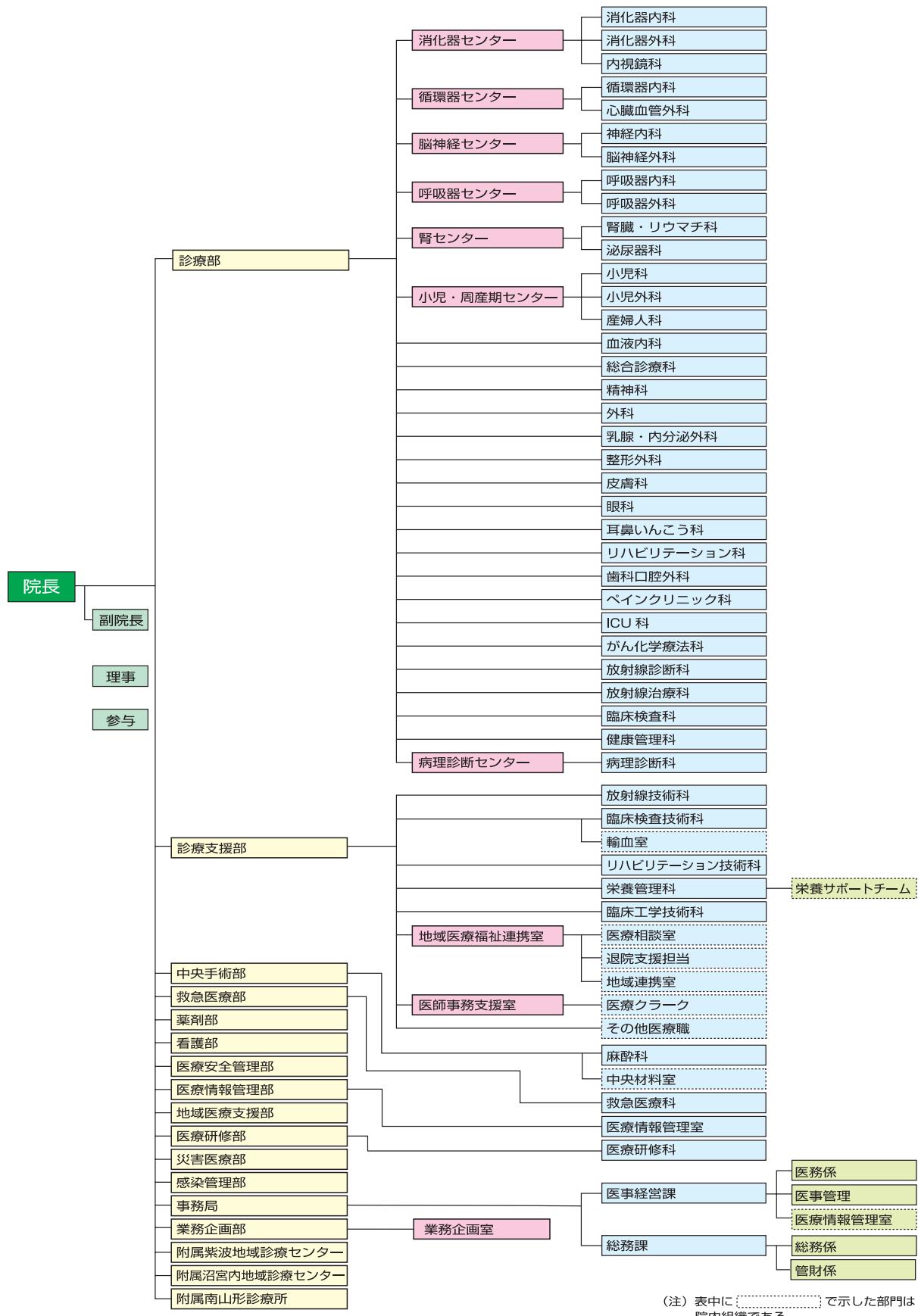
### 3. 歴代院長

敷波義雄（昭和 8 年 3 月～昭和 20 年 3 月）  
 猪狩正雄（昭和 20 年 4 月～昭和 22 年 4 月）  
 楠信雄（昭和 22 年 4 月～昭和 26 年 3 月）  
 敷波義雄（昭和 26 年 4 月～昭和 34 年 6 月）  
 若林衛夫（昭和 34 年 6 月～昭和 35 年 3 月院長心得）  
 桂重鴻（昭和 35 年 4 月～昭和 40 年 6 月）  
 桂重次（昭和 40 年 7 月～昭和 45 年 7 月）  
 金子保彦（昭和 45 年 7 月～平成元年 3 月）  
 小山田惠（平成元年 4 月～平成 8 年 3 月）  
 渡邊登志男（平成 8 年 4 月～平成 12 年 3 月）  
 樋口紘（平成 12 年 4 月～平成 18 年 3 月）  
 佐々木崇（平成 18 年 4 月～平成 24 年 3 月）  
 望月泉（平成 24 年 4 月～現在）

## 沿革

年月	出来事
昭和 8 年 5 月	明治 23 年開業以来 40 有余年の歴史のある私立病院の経営委譲を受け、有限責任購買販売利用組合盛岡病院として発足
昭和 25 年 11 月	岩手県立盛岡病院として県に移管改称、岩手県医療局発足
昭和 35 年 4 月	岩手県立中央病院に改称。地方公営企業法全部適用
昭和 44 年 4 月	成人病センター併設
昭和 46 年 4 月	臨床研修病院に指定。死亡例検討会（全科・全症例）
昭和 56 年 4 月	全国がん（成人病）センター協議会加盟
昭和 62 年 3 月	新築移転（一般 685 床、結核 45 床、計 730 床）
平成 2 年 12 月	地域医療部 ⇒ 地域医療連携室発足
平成 11 年 2 月	病院機能評価（一般病院種別 B）認定。三菱総研審査
平成 12 年 10 月	病院ボランティア「ひまわり」活動開始
平成 13 年 11 月	急性期病院加算算定。PHS 導入
平成 15 年 12 月	地域がん診療拠点病院指定
平成 16 年 1 月	院内全面禁煙（平成 19 年敷地内全面禁煙）
平成 16 年 7 月	携帯電話（全面）解禁。図書室を患者に開放
平成 17 年 4 月	セカンドオピニオン外来開設
平成 18 年 6 月	DPC 対象病院
平成 19 年 7 月	地域医療支援病院取得
平成 20 年 6 月	結核病棟（45 床）廃止（一般 685 床）
平成 20 年 7 月	7:1 入院基本料。入院時医学管理加算
平成 19 ~ 22 年	改修・改築・新築工事（PET-CT、リニアック室、増築棟竣工、救急室拡張、ER病棟改築、手術室増築 10 → 12 室）
平成 22 ~ 23 年	電子カルテ、PACS 導入
平成 23 年 3 月	東日本大震災発災。被災地への医療支援継続
平成 24 年 4 月	DPC II群病院。プロジェクトチーム（8チーム）。心臓カテーテル日帰り検査開始
平成 25 年 6 月	第 15 回日本医療マネジメント学会主催
平成 25 年 7 月	へき地医療拠点病院指定
平成 26 年 3 月	病院機能評価機構の更新認定（一般病院2 Ver1.0）
平成 26 年 12 月	院内 Wi-Fi サービス開始
平成 28 年 2 月	トイレ改修工事竣工

## 病院組織図 (平成 28 年 4 月 1 日現在)



## 主な認定施設等

日本医療機能評価機構認定病院	日本病理学会病理専門医制度規程日本病理学会研修認定施設A
日本医療機能評価機構救急医療機能認定病院	日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設
ステントグラフト実施施設 (胸部大動脈瘤ステントグラフト実施基準による)	日本麻醉科学会麻醉科認定病院
ステントグラフト実施施設 (腹部大動脈瘤ステントグラフト実施基準による)	日本リウマチ学会教育施設
肝炎治療指定医療機関(岩手県)	日本放射線腫瘍学会認定施設(準認定施設)
歯科臨床研修施設(複合研修方式による従たる施設)	日本脈管学会認定研修関連施設
心臓血管外科専門医認定機構規則規定基幹施設 (三学会構成心臓血管外科専門医認定機構)	日本臨床検査医学会臨床検査専門医制度規定認定研修施設
心臓血管麻醉専門医認定施設(日本心臓血管麻醉学会)	日本臨床細胞学会施設認定規定施設
地域がん診療連携拠点病院	日本臨床腫瘍学会認定研修施設
内分泌・甲状腺外科専門医制度認定施設	発達障がい児専門医療機関
日本IVR学会(インターベンショナルラジオロジー)専門医修練認定施設	母体保護法指定施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設	臨床研修施設(歯科医師法)
日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設	臨床研修病院(医師法)
日本外科学会外科専門医制度修練施設	臨床修練指定病院(外国医師又は外国歯科医師が行なう臨床修練)
日本肝胆脾外科学会高度技能医修練施設A	NPO法人卒後臨床研修評価機構認定施設
日本眼科学会専門医制度研修施設	JCOG参加施設
日本血液学会認定血液研修施設	日本胆道学会認定指導医制度指導施設
日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関	日本泌尿器科学会専門医教育施設
呼吸器外科専門医制度規則基幹施設	救急科専門医指定施設(日本救急医学会)
日本栄養療法推進協議会NST稼働施設	日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設
日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設	日本医療薬学会認定薬剤師制度研修施設
日本腎臓学会研修施設	日本肝臓学会認定施設
日本高血圧学会専門医認定施設	日本気管支学会認定医制度規則認定施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設	日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設
日本小児科学会小児科専門医制度小児科専門医研修施設	日本呼吸器外科学会指導医制度認定
日本消化器外科学会専門医制度規則専門医修練施設	日本呼吸器学会認定施設
日本消化器内視鏡学会専門医制度規則指導施設	日本呼吸器内視鏡学会専門医制度規則認定施設
日本消化器病学会専門医制度認定施設	日本口腔外科学会専門医制度研修施設
日本心血管インターベンション治療学会研修施設	日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
日本神経学会専門医制度教育施設	日本小児外科学会専門医制度教育関連施設
日本整形外科学会専門医制度規則研修施設	日本心血管インターベンション学会認定研修施設
日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設	日本透析医学会専門医制度岩手医科大学附属病院教育関連施設
日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム専門療法士認定規則実地修練認定教育施設	日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修事業研修施設
日本ペインクリニック学会認定医指定研修施設	体外設置型補助人工心臓認定施設
日本人間ドック学会及び日本病院会規定優良二日ドック施設	日本脳神経外科学会専門医研修プログラム研修施設
日本糖尿病学会認定教育施設	日本脳神経血管内治療学会認定研修施設
日本透析医学会専門医制度認定施設	日本脳卒中学会認定研修教育病院
日本内科学会認定医制度教育病院	日本乳癌オンコプラスティックサーチャー学会エキスパンダー実施施設
日本乳癌学会認定医・専門医制度規則認定施設	日本内分泌外科学会・日本甲状腺外科学会専門医制度認定施設
日本皮膚科学会認定専門医研修施設	日本周産期・新生児学会医学会母体胎児認定施設
日本病院会優良短期人間ドック施設	下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術実施施設

# 外来診療の流れ

## ■初めて受診される方へ

初診受付時間は、平日の午前8時30分から午前11時までです。受診の際には、待合ホールに備え付けの「**診療申込書**」に必要事項をご記入の上、「**健康保険証**」と「**紹介状**」（診療情報提供書）を総合受付にお出しください。

各診療科の外来スケジュールをご確認の上、受診してください。

## ■紹介状持参のお願い

当院は、地域の医療機関との連携を図っております。他の医療機関などからの紹介状（診療情報提供書）をご持参くださいようお願いいたします。

紹介状を持参されずに初めて受診された場合は、「緊急その他やむを得ない場合」などを除き「初診」に係る費用として【医科：5,400円（税込）、歯科：3,240円（税込）】を自己負担していただきます。

なお、紹介状持参の患者さんは優先して診察いたします。わからないことがありましたらご遠慮なく受付担当にお尋ねください。

## ■再診受診の方

### 【予約されている方】

- **再来受付機**で受付をします（稼働開始時間 午前7時45分から）。
- **診察券**を挿入しますと、予約されている科が表示されます。診療科名を確認してください。受付が完了したらプリンタから「**患者案内票**」が出力されます。
- 診察前に検査がある方は「**患者案内票**」の受診前検査欄に検査場所が表示されますので、直接その検査の窓口へいらしてください。
- その他の方は各外来受付へ「**患者案内票**」と「**診察券**」をクリアファイルに入れてご提出ください。

### 【予約されていない方】

- 予約患者の人数や診察状況などにより受診までに時間がかかる場合や受診できない場合がございますので、ご了承ください。なお、紹介状をお持ちの方、当院の医師からの受診指示を受けているなどについては、総合受付または、各外来受付でその旨お申し出ください。
- 受付時間は、午前8時30分～午前11時までです。
- 予約の変更は各外来へお電話でお話しください。
- 岩手県立中央病院 019-653-1151（代表）

他の医療機関等へ紹介後に、紹介状を持参せずに当院を受診された場合は、「緊急その他やむを得ない場合」などを除き、再診時の特別料金として【医科：2,700円（税込）、歯科：1,620円（税込）】を自己負担していただきます。

## ■保険証確認のお願い

定期的に受診されている方は、月の最初の受診時に外来受付に「**健康保険証**」を提示するようお願いします。

## ■診察が終わりましたら

外来受付より、薬の処方箋、次回の予約がある方は「**診療予約券**」をお渡しいたします。

## ■お支払いについて

総合受付の前に「**自動精算機**」がございますのでご利用ください。入院費のお支払や、当日分以外のお支払は「**自動精算機**」が利用できませんので会計窓口でお支払ください。

○「**自動精算機**」のご利用時間 平日：午前9時～午後4時まで

# セカンドオピニオン外来・退院調整のご案内

## ■セカンドオピニオンについて

セカンドオピニオンは、当院以外の医療機関に入院、通院をされている患者さんを対象としています。当院以外の医療機関の診断内容や治療法に関して当院の各診療科長や経験豊かな専門医師が助言を行い、患者さんご自身の治療決定に際してのご参考にしていただくことを目的としています。

セカンドオピニオン外来の診察は原則1回限りであり、セカンドオピニオン外来としては、新たな検査、治療は行いません。

受診の際には、患者さんの主治医からの診療情報提供書（紹介状）が必要になります。

最初から当院での検査、治療をご希望の場合はセカンドオピニオンの対象にはなりませんので、一般外来を受診願います。

### 受診方法について

- ①完全予約制のため、事前にFAX申込が必要です。
- ②受付時間 月曜日～金曜日（休日は除く）9時～17時
- ③電話番号 019-653-1151  
地域医療福祉連携室（内線：2191、2192）
- ④担当者が診察日時を調整しお知らせいたします。診察日時は、各診療科により異なります。
- ⑤受診日に、保険証および診療情報提供書（紹介状）等の必要資料を持参の上、直接診察を受ける診療科の診察受付に来院してください。

費用
相談時間 30分まで 10,800円
その後 15分まで毎に 5,400円
※お問合せや予約には料金はかかりません。 (全額自費となります。健康保険は適用されません)

### お受けできないセカンドオピニオン例

- 相談内容が当院の専門外である場合
- 最初から転院を希望されている場合
- 主治医に対する不満、医療過誤、裁判係争中に関する相談
- 死亡した患者さんを対象とする場合
- 主治医が了解していない場合
- 相談に必要な資料をお持ちでない場合
- 予約外の場合

※相談内容によっては、予約後でもお断りする場合もございますのでご了承ください。

## ■退院支援について

地域医療福祉連携室に所属する、地域連携コーディネーター（看護師）が主に次のような案件に対応いたします。

- ①入院が長期化する可能性のある患者さんに対し、早期からご相談対応いたします。
- ②患者さんやご家族が安心して退院できるよう調整いたします。
  - ・退院先の環境や生活に合わせた具体的な療養指導および社会資源の紹介をいたします。
  - ・病院内外の他職種と連携して支援体制を整えます。
- ③急性期、リハビリテーション、療養型など特徴を持つ病院の機能に合わせて適切にご紹介いたします。

## ■医療相談室について

病気になるともしなかった心配事が起こってきます。そのようなとき、患者さんや家族の方々の相談に応じる医療ソーシャルワーカーがあります。

〈主な相談内容〉

- ・医療費や生活費など経済的なこと
  - ・退院後の生活や在宅療養に関するこ
  - ・福祉サービス（介護保険、障がい者、児童福祉など）の利用に関するこ
  - ・療養中の不安や心配なこと
- 患者さんや家族の方々が安心して療養できるようにさまざまな相談をお受けしておりますので、一人で悩まずに気軽にご相談ください。相談は無料で、内容については秘密を守ります。

## 地域医療福祉連携室のご案内

### 地域医療福祉連携室は各医療機関と中央病院をつなぐ窓口です

当院は2007(平成19)年7月に地域医療支援病院の認定を受けております。

病院——かかりつけ医の病診連携と機能分担「2人の主治医」を推進し、地域の先生方と当院との連携を深め、個々の患者さんに対して継続した質の高い医療を提供する窓口として「地域医療福祉連携室」を設けております。

双方向のコミュニケーションの推進、紹介患者さんの受入、特殊検査の受託などを円滑に対応いたします。  
お気軽に「地域医療福祉連携室」をご利用ください。

- 紹介患者さんの診療予約受付
- 診療結果のご報告
- 退院後の治療方針のご相談
- セカンドオピニオン受付
- 地域連携バス利用の推進
- 公開講座等による最新医療情報のご提供
- 連携室だよりの発行

ふたりの主治医  
診療情報の共有



#### ■患者さんをご紹介いただくときの手順

当院は紹介状をお持ちの患者さんを優先して診察をしております。予めFAXでご紹介をいただき予約をお取りいただきますと、事前にカルテを作成しておきますので、来院後の手続き・待ち時間も少なく、お勧めいたします。

緊急受診が必要な場合や診療のご相談は各診療科医師にお電話ください。

1. 「**診療申込書（紹介患者用）**」を記載してFAXで送信してください。
  2. FAX受診後、受診日時を確認の上、折り返し10分ほどで診療予定日をご連絡いたします。  
——「**ご紹介確認書**」
  3. また、患者さん用の「来院のご案内」を添付いたしますので患者さんへお渡しください。  
——「**来院のご案内**」
  4. 予約申込後、受診日まで結構ですので診療情報提供書をFAXまたは郵送でお送りください。
  5. 受診当日、患者さんは直接、診療科外来受付へお越しください。
- 各受診科の受付に紹介状・保険証等・「来院のご案内」を提示いただければ受付ができます。

- 診察日は担当の医師等をご指定いただいた場合は、極力ご希望通りにいたしますが、下記の場合などは、ご希望に添えないことがあります。その際には予約日の変更をお願いいたしますので、ご理解ご協力のほどお願いいたします。

☆学会・その他で担当医師不在、休診の場合は同じ診療科の別の医師

☆予約が混み合っている場合

- 受診希望日・担当医師希望の記載がない場合は、申込日より最短の予約可能日でお取りいたします。
- 当日受診の際は受診希望日欄に当日の日付をご記入ください。外来受付は午前11時までとなります。
- 緊急時は必ず該当診療科の医師へ電話連絡をお願いいたします。  
連絡後、「**診療申込書**」をFAXで送信してください。
- CT、MRI、PET-CTの予約の際は、検査部位を必ずご記入ください。

- PET-CT 検査の予約の際は、「**診療申込書（紹介患者用）**」に「**FDG-PET 検査依頼書**」を添えて FAX を送信してください。
- 精神科、女性外来の予約は電話のみの受付となります。  
受付時間 平日 13:00～14:00  
ご連絡先 019-653-1151（代表）から内線 2256 または精神科外来と電話交換手にお伝えください。

## ■24 時間、365 日対応の診療予約

夜間・休日等は、当直者・日直者が対応をいたします。当日お返事ができない案件は、平日に連携室の担当よりご連絡等対応させていただきます。

## ■ご紹介いただいた後の当連携室の対応について

連携室はご紹介いただいた患者さんの報告書が提出されたかをチェックし、確実に報告書を提出いたします。

## ■連携室からのお知らせとお願い

- 「**紹介患者予約用 外来担当医表**」をご確認の上 FAX をお願いします。「**紹介患者予約用 外来担当医表**」、「**医師の出張などに伴う不在情報**」は当院ホームページ、地域医療福祉連携室のページにて随時更新をしております。
- 「**診療申込書（紹介患者用）**」につきましては、年に一度郵送しております。  
紹介元名、返信先 FAX 番号の記載がない場合、お返事が遅くなってしまうことがあります。棚判等でかまいませんので必ず記載をしていただき、コピー対応をしていただきますようお願いいたします。  
万一、不足になったときは再度郵送いたしますのでご連絡ください。なお、当院ホームページ、地域医療福祉連携室のページよりダウンロードも可能です。

岩手県立中央病院  <http://www.chuo-hp.jp/>

- お返事は 10 分以内にご連絡をすることを心掛けておりますが、診察状況などにより返信に時間がかかる場合があります。また、がん化学療法科・放射線科の予約につきましては担当医との調整がありますのでお返事が翌日以降になる場合があります。

### 受付時間と連絡先

外来受付時間 平日 午前 8 時 30 分～午前 11 時  
連絡先 TEL: 019-653-1151（代表）・内線 2191  
019-622-9996（直通）  
FAX: 019-654-5052

## 病院案内・アクセス

開設者	岩手県知事 達増 拓也
院長	望月 泉
診療科	血液内科、総合診療科、腎臓・リウマチ科、がん化学療法科、神経内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科・内視鏡科、循環器内科、小児科、乳腺・内分泌外科、外科・消化器外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科（診断科・治療科）、歯科口腔外科、麻酔科、ペインクリニック科、病理診断科
許可病床数	一般 685 床

案内図



### ■ 交通

JR 盛岡駅下車（東北本線、東北新幹線）

JR 上盛岡駅下車（山田線）

IGR いわて銀河鉄道盛岡駅下車

バス（岩手県交通）

盛岡駅→松園行一高前下車徒歩 5 分

病院回り線中央病院前下車徒歩 1 分

### タクシー

盛岡駅より約 10 分

バスセンターより約 15 分

### ■ 所在地

〒020-0066 岩手県盛岡市上田1丁目4番1号

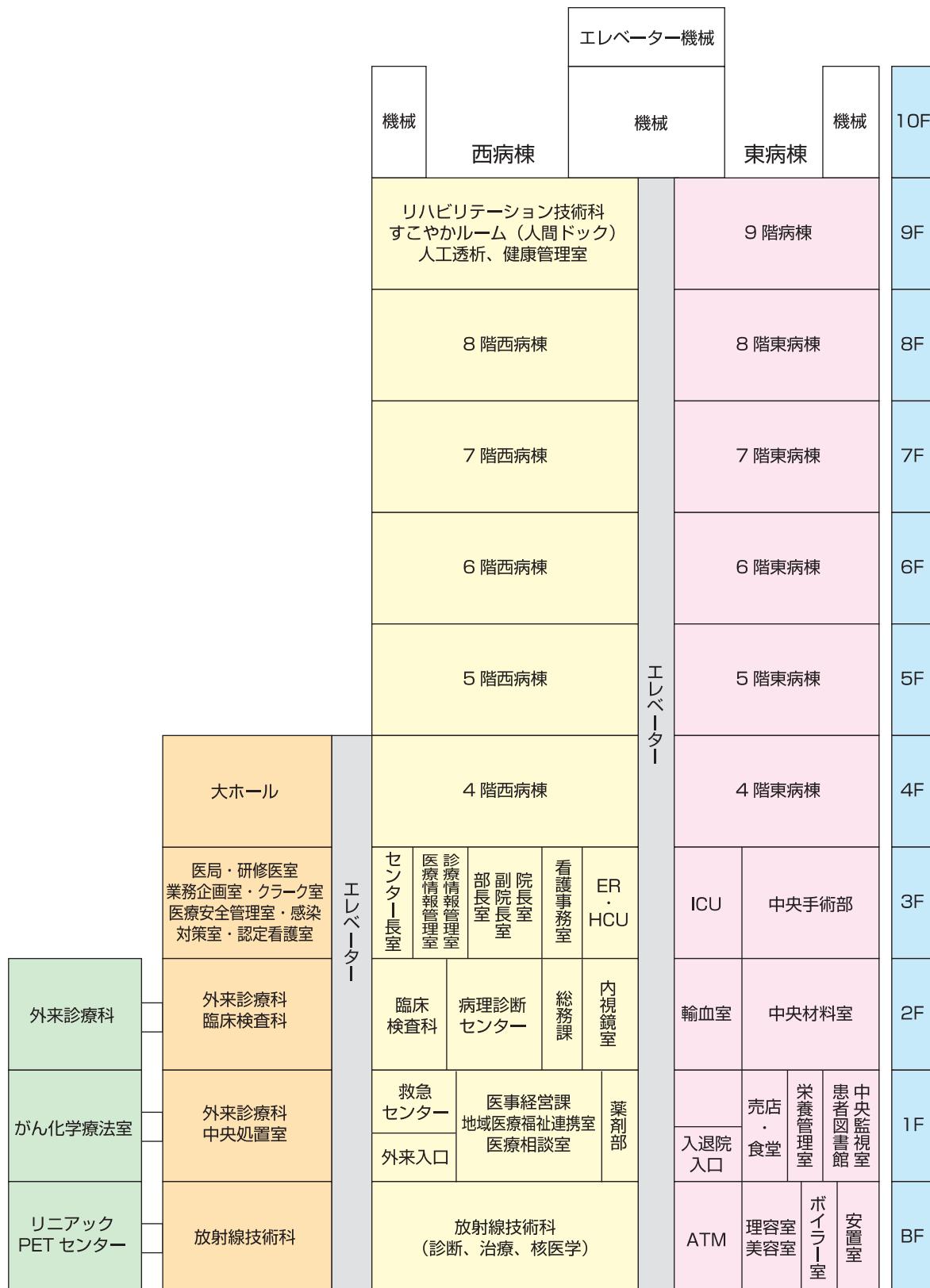
TEL : 019-653-1151(代表)

FAX : 019-653-2528(代表)

岩手県立中央病院ホームページアドレス

<http://www.chuo-hp.jp/>

## 施設案内図



症状、検査・診断方法、疾患名、治療方法やケアなどにかかる語句を掲載しています  
(読者の皆さんに役立つと思われる箇所に限定しています)。

<b>あ</b>	感染管理認定看護師 ..... 108	劇症型心筋炎 ..... 72
アスペルガー症候群 ..... 83	がん専門薬剤師 ..... 44, 114	血液透析 ..... 78
<b>い</b>	がん治療支援チーム ..... 51	血管炎症候群 ..... 79
医科と歯科の連携 ..... 34	冠動脈 ..... 19, 71, 112	月経困難症 ..... 84
胃がん ..... 24	冠動脈カテーテル治療 ..... 68	血栓 ..... 18
医師の地域偏在 ..... 11	冠動脈バイパス手術 ..... 76	血栓回収療法 ..... 18
医師不足 ..... 10	がんの痛み ..... 50	健康寿命 ..... 55
痛くない局所麻酔 ..... 102	がんのリハビリテーション ..... 113	健康食品 ..... 61
医療機器 ..... 117	漢方薬 ..... 115	検査説明 ..... 110
医療研修部 ..... 14	がん免疫療法 ..... 41	<b>こ</b>
医療用麻薬 ..... 50, 115	がん薬物療法認定薬剤師 ..... 114	口腔機能管理 ..... 34
イレウス管 ..... 35	緩和ケア ..... 35, 50	高血圧 ..... 58
インターフェロン治療 ..... 37	緩和ケアチーム ..... 50, 51	膠原病 ..... 78
<b>う</b>	<b>き</b>	好酸球性副鼻腔炎 ..... 96, 97
運動 ..... 55	気管支鏡検査 ..... 38	甲状腺がん ..... 45
運動器疾患リハビリテーション ..... 113	起床後第2尿法 ..... 59	高精度放射線治療 ..... 49
<b>え</b>	喫煙 ..... 55	抗TNF $\alpha$ 抗体製剤 ..... 36
栄養バランス ..... 61	逆行性胆管造影(ERCP) ..... 32	更年期 ..... 85
炎症性腸疾患 ..... 36	救急車 ..... 12	更年期障害 ..... 84
<b>お</b>	救急センター ..... 12	硬膜外麻酔 ..... 88
親知らずの腫れや痛み ..... 102	救急認定看護師 ..... 12	コーチング ..... 15
<b>か</b>	急性心筋梗塞 ..... 12, 18, 71	呼吸器疾患リハビリテーション ..... 113
潰瘍性大腸炎 ..... 36	急性大動脈解離 ..... 75	骨粗しょう症 ..... 92, 103
拡大手術 ..... 25	胸腔鏡 ..... 23, 39	骨密度測定 ..... 112
拡大内視鏡 ..... 24	狭心症 ..... 68	個別化治療 ..... 40
喀痰細胞診 ..... 38	極小切開手術 ..... 95	<b>さ</b>
拡張型心筋症 ..... 73	緊急胆膵内視鏡 ..... 20	細胞診 ..... 52
括約筋間直腸切除術(ISR) ..... 27	緊急内視鏡検査・治療 ..... 20	殺細胞性抗がん剤 ..... 41
カテーテルアブレーション治療 ..... 68	<b>く</b>	産業革命 ..... 55
下部緊急内視鏡 ..... 20	くも膜下出血 ..... 64	参考値 ..... 110
下部消化管ステント ..... 35	クローン病 ..... 36	サンゴ状結石 ..... 81
がん看護専門外来 ..... 106	<b>け</b>	三大成人病 ..... 55
がん関連の専門・認定看護師 ..... 108	経食道エコー ..... 88	<b>し</b>
肝硬変 ..... 28, 37	頸動脈狭窄症 ..... 64	子宮下垂 ..... 85
看護専門外来 ..... 106	経皮的冠動脈形成術 ..... 19	子宮筋腫 ..... 84
看護提供システム ..... 105	経皮的心肺補助(PCPS) ..... 72	子宮筋腫核出術 ..... 84
肝細胞がん ..... 28	経皮的肺生検 ..... 38	子宮頸がん ..... 84
患者受持ち制 ..... 105	外科治療(手術) ..... 25	子宮頸部円錐切除術 ..... 84

子宮脱	85	脾臓	32	超音波検査	44
子宮内膜症	85	脾臓がん	32	超音波内視鏡下穿刺吸引生検法 (EUS-FNA)	32
思春期	84	脾臓がんの危険因子	32	超音波内視鏡検査(EUS)	32
歯性上顎洞炎	96	脾体尾部切除	33	腸閉塞	35
自閉症	82	脾頭十二指腸切除	33	直腸指診	87
重症病棟	90	ステントグラフト	74	て	
術後性頬部囊胞	96	ステント留置術	64	定位放射線治療	49
術中迅速診断	52	ストーマ・スキンケア(創傷)		低侵襲手術	92
循環器センター	12	看護専門外来	107	データベース(DB)	111
生涯の健康管理	111	せ		電子カルテ	111
消化器センター	34	生活習慣病	55, 61	と	
硝子体手術	94	生活の質	35	頭蓋底手術	65
小児看護専門外来	107	成人病	55	頭蓋内血腫除去手術	65
小児外科	86	生命維持管理装置	91, 117	透析	91
小児専門看護師	108	脊髄くも膜下麻酔	88	糖尿病	98
消費エネルギー	60	摂取エネルギー	60	糖尿病性壊疽	99
上皮内がん	84	摂食機能療法	113	糖尿病療養支援外来	107
上部緊急内視鏡	20	腺がん	38	動脈塞栓(TAE)	28
情報化	111	全身麻酔	88	動脈瘤	112
食塩摂取量	58	専門看護師	104	ドクタージェネラル(総合診療医)	12
食事	55, 61	専門・認定看護師	108	特定行為(医師の指示の下、 医療行為を実施)を行う看護師	104
食生活指針	61	前立腺がん	80	そ	
腎がん	80	造影剤	112	特発性心筋症	68
心筋梗塞	68, 77	早期胃がん	24	トリアージ	12
神経内視鏡技術認定医	65	早期食道がん	22	な	
人工肛門	27	僧帽弁乳頭筋断裂	77	内胸動脈	76
人工呼吸器	91	組織型	40	内視鏡下鼻副鼻腔手術	96
人工心臓治療	69	組織診断	52	内視鏡治療	24
心室中隔穿孔	77	た		内視鏡的胃粘膜下層剥離術 (胃ESD)	24
心臓移植	72	体外衝撃波破碎術	80	内視鏡的粘膜下層剥離術 (食道がんESD)	22
心臓カテーテル治療	71	体幹部定位照射	49	内視鏡的粘膜下層剥離術 (大腸がんESD)	26
心臓発作	18	大腸悪性腫瘍	35	内視鏡的粘膜切除術 (食道がんEMR)	22
心臓リハビリテーション	19	大動脈瘤	74	内視鏡的粘膜切除術 (大腸がんEMR)	26
心大血管疾患リハビリテーション	113	地域医療研修	14		
心肺蘇生法	19	地域医療支援	10		
心肺停止	12	チーム医療	13, 15		
心破裂	77	智齒周囲炎	102		
す		虫垂切除術	86		
脾消化酵素補充薬	33				
脾全摘	33				

<b>い</b>	腹腔鏡下虫垂切除術 ..... 86	リニアック ..... 48
二次性心筋症 ..... 68	腹腔鏡手術 ..... 25, 27, 29	臨床研修制度 ..... 14
乳がん ..... 44	副鼻腔真菌症 ..... 96	臨床工学技士(CE) ..... 89, 117
乳がん看護専門外来 ..... 106	腹部大動脈瘤 ..... 74	臨床病期 ..... 38
乳がん看護認定看護師 ..... 44	腹膜透析 ..... 78	<b>A</b>
乳房再建 ..... 44	分子標的治療 ..... 41	ACT-FAST運動 ..... 67
尿路結石症 ..... 80	<b>へ</b>	ADHD(注意欠陥多動障害) ..... 82
認定看護師 ..... 104	閉塞性動脈硬化症 ..... 70	<b>B</b>
<b>ね</b>	ペースメーカー ..... 117	B型肝炎 ..... 28
ネフローゼ症候群 ..... 79	へき地医療拠点病院 ..... 11	<b>C</b>
粘膜の治癒 ..... 36	臍 ..... 86	C型肝炎ウイルス ..... 37
<b>の</b>	扁平上皮がん ..... 38	C型肝炎 ..... 28
脳血管疾患リハビリテーション ..... 113	弁膜症 ..... 68	CT ..... 112
脳血管内治療 ..... 18, 64	<b>ほ</b>	<b>F</b>
脳梗塞 ..... 18, 66, 112	蜂窩織炎 ..... 98	FAST ..... 67
脳神経センター ..... 12	膀胱がん ..... 80	<b>H</b>
脳卒中 ..... 12, 66	放射線化学療法 ..... 22, 23	High Care Unit <HCU> ..... 90
脳動脈瘤 ..... 64	放射線治療 ..... 48, 112	<b>I</b>
<b>は</b>	放射線被曝 ..... 112	ICU ..... 13
肺がん ..... 38	蜂巣炎 ..... 98	IgA腎症 ..... 78
肺がんの分類 ..... 40	補助人工心臓 ..... 72	IMRT(強度変調放射線治療) ..... 49, 112
肺機能温存手術 ..... 39	麻醉科医 ..... 88	Intensive Care Unit <ICU> ..... 90
排尿障害 ..... 80	慢性肝炎 ..... 37	<b>M</b>
廃用症候群リハビリテーション ..... 113	慢性副鼻腔炎 ..... 96	MRI ..... 112
白内障手術 ..... 94	マンモグラフィ ..... 44, 112	<b>O</b>
跛行 ..... 70	盛岡市医師会二次救急対策委員会 ..... 13	OPCAB (心拍動下冠動脈バイパス手術) ..... 77
発達障害 ..... 82	盛岡保健医療圏 ..... 12	<b>P</b>
鼻茸 ..... 96	<b>も</b>	PET ..... 112
鼻ポリープ ..... 96	優先診療 ..... 12	<b>R</b>
腫れない痛くない抜歯術 ..... 102	ラジオ波焼灼療法(RFA) ..... 28	RI ..... 112
<b>ひ</b>	卵巣がん ..... 84	<b>S</b>
非結核性抗酸菌 ..... 42	卵巣嚢腫 ..... 84	SRT(定位放射線治療) ..... 112
非小細胞肺がん ..... 38	<b>や</b>	<b>T</b>
肥大型心筋症拡張相 ..... 73	やけど ..... 98	t-PA静注療法 ..... 66
皮膚搔痒症 ..... 98	<b>い</b>	<b>V</b>
皮膚・排泄ケア認定看護師 ..... 108	優先診療 ..... 12	VMAT(回転型IMRT) ..... 112
病理診断 ..... 52	ラジオ波焼灼療法(RFA) ..... 28	
ピロリ菌 ..... 24	卵巣がん ..... 84	
<b>ふ</b>	卵巣嚢腫 ..... 84	
腹腔鏡下肝切除 ..... 29	<b>り</b>	
	リウマチ ..... 78	

# 岩手県立中央病院

〒020-0066 岩手県盛岡市上田1丁目4番1号 TEL:019-653-1151 (代表)  
<http://www.chuo-hp.jp/>

- 装幀／スタジオギブ
- 本文DTP／岡本祥敬 御立ルミ (アルバデザイン)
- 図版／岡本善弘 (アルフおンス)
- 本文イラスト／久保咲央里 (デザインオフィス仔ざる貯金)
- 編集協力／山田清美
- 編集／西元俊典 橋口環 二井あゆみ 石濱圭太

県民に信頼される親切であたたかい病院  
**岩手県立中央病院**

2016年6月20日 初版第1刷発行

編 著／岩手県立中央病院  
発行者／出塚 太郎  
発行所／株式会社 バリューメディカル  
東京都港区芝4-3-5 ファースト岡田ビル5階  
〒108-0014  
TEL 03-5441-7450  
FAX 03-5441-7717  
発売元／有限会社 南々社  
広島市東区山根町27-2 〒732-0048  
TEL 082-261-8243

印刷製本所／大日本印刷株式会社  
\*定価はカバーに表示しております。

落丁・乱丁本は送料小社負担でお取り替えいたします。  
バリューメディカル宛にお送りください。  
本書の無断複写・複製・転載を禁じます。

© Iwate Prefectural Central Hospital, 2016, Printed in Japan  
ISBN978-4-86489-052-6